

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公表番号】特表 2019-510065 (P2019-510065A)

【公表日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2018-551346 (P2018-551346)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/39 (2006.01)

A 6 1 Q 1/14 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

A 6 1 K 8/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/39

A 6 1 Q 1/14

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/55

A 6 1 K 8/86

A 6 1 K 8/92

A 6 1 K 8/03

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 7 日 (2019.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水相および別個の油中水型または水中油型相から構成される化粧品組成物であって、
前記組成物が、イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を含む乳化系を含み、
前記油中水型または水中油型相が、前記組成物の全重量に対して少なくとも 20 重量%の油相を含む、化粧品組成物。

【請求項 2】

グルコノラクトンおよび／または安息香酸ナトリウムをも含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

全体的な水相：油相比が、40：60 から 80：20 の間であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記油相が、前記組成物の全重量の 20 重量%から 40 重量%の含有量で存在することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記乳化系が、前記組成物の全重量の 2 重量%から 10 重量%の含有量で存在することを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

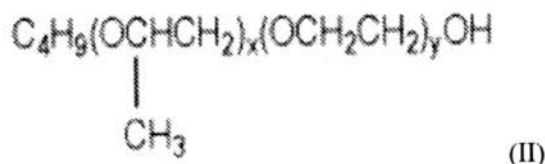
【請求項 6】

前記イヌリン誘導体が、アルキルイソシアネートを有するイヌリンカルバモイルであることを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ポリプロピレングリコールブテスが、次式 (I I)

【化 1】



〔式中、x および y は、同一でも異なってもよい、1 から 50 の整数である〕を満たすことを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

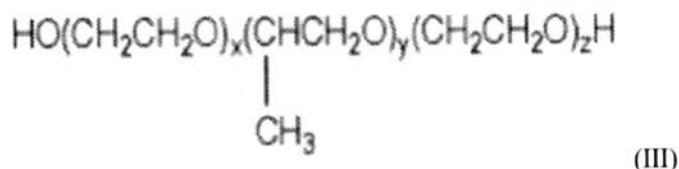
【請求項 8】

前記ポリプロピレングリコールブテスが、PPG-12-ブテス-16、PPG-9-ブテス-12、PPG-26-ブテス-26 および PPG-28-ブテス-35 の中から選ばれ、かつ／または前記硬化ヒマシ油の誘導体が、オキシエチレン硬化ヒマシ油であることを特徴とする、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記ポロキサマーが、次式 (I I I)

【化 2】

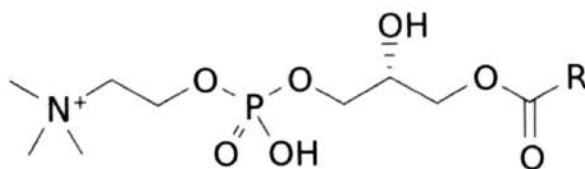


〔式中、x および y は、同一でも異なってもよい、1 から 50 の整数である〕を満たすことを特徴とする、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記リゾリン脂質が、次式

【化 3】



〔式中、R は、脂肪酸鎖である〕を有する、リゾホスファチジルコリンであることを特徴とする、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記油相が、鉱油、植物油および合成油の中から選ばれる少なくとも 1 種の油を含むことを特徴とする、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

少なくとも 1 種の抗起泡剤をも含むことを特徴とする、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

pHが4.3+/-0.3であることを特徴とする、請求項1から12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項1から13のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

a) イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を、水、場合によっては、保存剤と混合して、水相を得るステップと；

b) 前記油相を得るステップと；

c) b)において得られた油相を、a)において得られた水相に投入して、前記エマルションを得るステップとを含む、方法。

【請求項 15】

請求項1から13のいずれか一項に記載の化粧品組成物が、皮膚、眼および／または付属器に塗布されることを特徴とする、皮膚、眼および／または付属器のメイクアップ除去、クリーニングおよび／またはケアの美容方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

水 q s p

0.7%NaCl

7.2%グリセリン

2%グルコノラクトンおよび安息香酸ナトリウムおよびグルコン酸カルシウム (GEORGARD ULTRA)

9.8%トリ (カプリル酸／カプリン酸) グリセリル (Mygliol 812N)

10%水添ヤシ脂肪酸および (カプリル酸／カプリン酸) ヤシアルキル (VEGELIGHT 1214 LC)

9.98%イソヘキサデカン (Creasil IHGC)

0.1%シメチコン (XIAMETER ACP-1500)

1%ラウリルカルバミン酸イヌリンおよびグリセリン (INUTEC SL1)

3.5%グリセリンおよびダイズ種子エキス (LYSOFIX LIQUID)

0.7%ポロキサマー184 (SYNPERONIC PE L64)

1%PPG-26-ブテス-26 およびPEG40硬化ヒマシ油 (SOLUBILISANT LRI)

なお、本発明には、以下の実施態様が包含される。

[1] 水相および別個の油中水型または水中油型相から構成される化粧品組成物であって、

前記組成物が、イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を含有する乳化系を含み、

前記油中水型または水中油型エマルションが、前記組成物の全重量に対して少なくとも20重量%の油相を含む、化粧品組成物。

[2] グルコノラクトンおよび／または安息香酸ナトリウムをも含む、[1]に記載の組成物。

[3] 全体的な水相：油相比が、40：60から80：20の間であることを特徴とする、[1]または[2]に記載の組成物。

[4] 前記油相が、前記組成物の全重量の20重量%から40重量%、好ましくは、25重量%から35重量%の含有量で存在することを特徴とする、[1]から[3]のいずれ

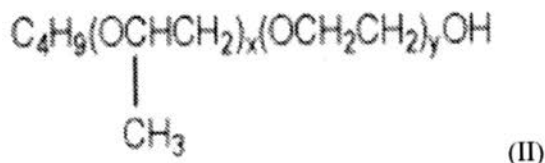
か一項に記載の組成物。

〔5〕前記乳化系が、前記組成物の全重量の2重量%から10重量%、好ましくは、3重量%から7重量%の含有量で存在することを特徴とする、〔1〕から〔4〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔6〕前記イヌリン誘導体が、アルキルイソシアネート、好ましくは、ラウリルイソシアネートを有するイヌリンカルバモイルであり、好ましくは、前記誘導体が、ラウリルカルバミン酸イヌリンであることを特徴とする、〔1〕から〔5〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔7〕前記ポリプロピレングリコールブテスが、次式（I I）

【化1】

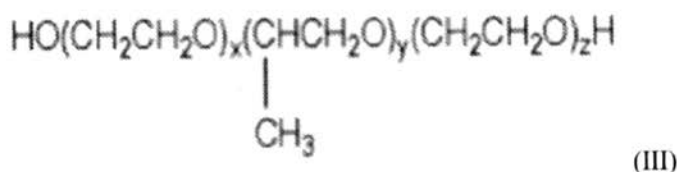


〔式中、xおよびyは、同一でも異なってもよい、1から50、好ましくは、10から35の整数である〕を満たすことを特徴とする、〔1〕から〔6〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔8〕前記ポリプロピレングリコールブテスが、PPG-12-ブテス-16、PPG-9-ブテス-12、PPG-26-ブテス-26およびPPG-28-ブテス-35の中から選ばれ、かつ／または前記硬化ヒマシ油の誘導体が、オキシエチレン硬化ヒマシ油であり、好ましくは、20モルから50モルの間のエチレンオキシドを含むことを特徴とする、〔1〕から〔7〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔9〕前記ポロキサマーが、次式（I I I）

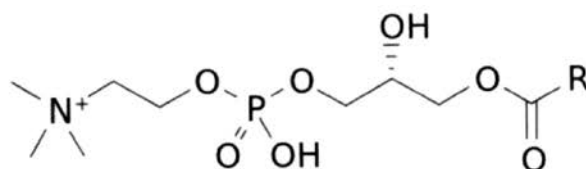
【化2】



〔式中、xおよびyは、同一でも異なってもよい、1から50、好ましくは、10から35の整数である〕を満たすことを特徴とする、〔1〕から〔8〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔10〕前記リゾリン脂質が、次式

【化3】



〔式中、Rは、脂肪酸鎖であり、特に、10～25個、好ましくは、15～20個の炭素原子を含む脂肪酸鎖である〕を有する、リゾホスファチジルコリンであることを特徴とする、〔1〕から〔9〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔11〕前記油相が、鉱油、植物油および合成油の中から選ばれる少なくとも1種の油を含むことを特徴とする、〔1〕から〔10〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔12〕少なくとも1種の抗起泡剤、好ましくは、シメチコンをも含むことを特徴とする、〔1〕から〔11〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔13〕 pHが約4.3+/-0.3であることを特徴とする、〔1〕から〔12〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔14〕 〔1〕から〔13〕のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

a) イヌリン誘導体、リゾリン脂質、ポロキサマー、ポリプロピレングリコールブテスおよび硬化ヒマシ油の誘導体を、水、場合によっては、保存剤と混合して、水相を得るステップと；

b) 前記油相を得るステップであって、特に、鉱油、植物油または合成油であり得る少なくとも1種の油を有する前記油相を得るステップと；

c) b)において得られた油相を、a)において得られた水相に投入して、前記エマルションを得るステップと

を含む、方法。

〔15〕 〔1〕から〔13〕のいずれか一項に記載の化粧品組成物が、皮膚、眼および／または付属器に塗布されることを特徴とする、皮膚、眼および／または付属器のメイクアップ除去、クリーニングおよび／またはケアの美容方法。